

Interview★

『グローバル選抜探究コース』  
の中1生に聞きました  
『イメージ授業』の感想は？



松島 由里菜さん

入学当初は英語があまり得意ではなかったのですが、イメージ授業で楽しく学ぶうちにだんだん理解できるようになりました。苦手な事一つずつ克服していくうちに、「何事にもチャレンジしてみよう」と前向きに考えられるようになりました。海外で通用するコミュニケーション能力を身につけられるように頑張ります！



森川 紡季さん

イメージ授業は、最初にお手本を見せながら説明してもらえるので、英語が苦手でも安心して取り組みます。英語を使って話し合ったり助け合ったりすることで、自然と英語力を身につけることができます。目標は、留学して本場の英語に触れること。現在はポーラ先生にサポートいただきながら、英検2級合格を目指して勉強中です。



神崎 円さん

いろいろな場面で英語を使ううちに、英語が身近な存在になり、話すことを楽しめるようになりました。プログラミングには個性が表れるので、仲間の多様な個性や価値観に触れることができるという面白さがあります。将来の夢はクライミングの選手として活躍すること。世界中のクライマーと語り合い、協力し合えることができるように、英語力を磨いていきたいです。

▼「未来型リーダーシップの女性育成」「進路満足度100%」の実現に向けた改革の一環である個別最適化学習の実践は、中1からスタート。課題発見とその解決方法を探る探究型学習を日常的に実践するため、『学習計画シート』の作成、振り返りの時間『リフレクション・アワー』、担任からのアドバイスなどを通してPDCA指導サイクルを確立している。

豊富な英語教育で可能性を広げる  
『グローバル選抜探究コース』



週10時間以上の英語の授業時間を確保する「グローバル選抜探究コース」。イメージ授業は、お菓子作りなどに挑戦する「家庭科」、ボディパーカッションやラップなどを楽しむ「音楽科」、人気ゲームを教材とした「プログラミング(情報科)」を展開。この日の「プログラミング」ではゲーム作りチャレンジ。すべて英語のため簡単ではないものの、先生や仲間気軽に聞ける雰囲気、それぞれのペースで楽しく学ぶ姿が見られた。



神戸山手女子

生徒一人ひとりに寄り添った指導で  
学ぶ意欲が向上



▲「もっと英語を話したい！」という空気に満ちている『グローバル選抜探究コース』。  
「英語に苦手意識のある生徒には、『週末は何をした?』など何気ない会話から始め、英語へのハードルを下げます。私も生徒から日本語を教えてもらうことがあります。うまく発音できないこともしばしば。『間違っても大丈夫』という安心感、間違いを恐れない姿勢につながればと思っています」(ポーラ先生)



◀保護者対象の校長面談(希望者)も、「グローバル選抜探究コース」の取り組みの一つ。海外にいる保護者にはオンラインでフレキシブルに対応。「家庭でのようすを共有したり、目標や夢を踏まえて学びの方向性を話し合ったり、ご相談があれば校長から助言をさせていただいたり、内容はさまざまです。担任もできる限り同席しており、保護者の方と協力し合える良い関係性の構築にもつながっています」(山田先生)



▲学校改革を支える先生方。活発なやりとりからは、チームワークの良さが伝わってくる。左から英語科副主任・山田菜麗奈先生、ネイティブ教員のポーラ先生、シャロン先生、入試広報センター長・大野嘉子先生、副センター長の坪井りか先生。  
「性別・年齢を問わず力を発揮できる環境。それぞれの強みを活かせる場、やりがいを感じられるポジションで仕事ができているので、皆、学校改革にも意欲的です」(大野先生)

グローバルマインドを育む新コース始動で  
学校がイキイキと活気に満ちた学びの場に

スベルを互いに教え合ったりと、助け合いながら、イキイキと取り組む姿が印象的でした。

「イメージ授業を行う教科の教員による授業準備『イメージ・ミーティング』の成果もあり、高い定着度・習熟度を実現できています」  
(技術・情報科主任/友恵悠記先生)

「ネイティブ教員との2人担任制のもと朝礼・終礼も英語で実施しています。当番の生徒が一日の出来事や感想を英語で話す時間を設けているのですが、新しく覚えた表現を取り入れるなど意欲的。英語を身近なツールとして使いこなす力はもちろん、一人ひとりの思いを共有することで、互いを認め合う意識や、クラスの一体感が高まっていくのを感じます」  
(英語科副主任/山田菜麗奈先生)

校長による月一回の保護者面談をはじめ、個々に寄り添ったサポートする体制が整ったコース。支え合い、高め合い、挑戦しながら学ぶ生徒たちのさらなる成長が楽しみです。

2024年に創立100周年を迎える同校。進路満足度が加速するなか、2023年春の卒業生の現役合格率、生徒・保護者の進路満足度はともに9割以上に達し、難関・有名大学合格や姉妹校である関西国際大学への進学者数も過去最多となりました。さらに加入率9割以上を誇るクラブ活動の目覚ましい活躍に加えて、個別最適化学習の成果が試される全国コンテストでの上位入賞、6000名以上が参加する高校生アントレプレナーシップ・プログラムでの2年連続ファイナリスト選出など、あらゆる側面から進化が伝わってきます。

その躍進の原動力はどこにあるのか? 答えは、2023年4月にスタートした『グローバル選抜探究コース』の授業からも見つけることができます。今回見学したのは、ネイティブ教員と日本人教員のチームティーチングのもと、英語で学ぶ中一の『イメージ授業』の「プログラミング」。『イメージ授業』は週一回、2時間連続で、「音楽科」「家庭科」「プログラミング(情報科)」で導入しており、「プログラミング」では、人気のゲームを使った教材を採用しています。

授業はすべて英語で行われ、生徒たちはわからないところがあれば積極的に質問したり、入力する単語の

学習計画シート(高2, 高3選抜コース)

日	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
授業内容	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
来週予定	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
来月の予定	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語
現代文	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語	英語